



To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2010年7月 No.338  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2010~2011)	
センテニアルクラブ会長	：『創造と協同、みんなの願いを前へ』
東京セントラルクラブ会長	：『』
国際会長	：『明日への橋を架けよう』
アジア地域会長	：『心新たに立ち上がろう』
西日本区理事	：『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』
中西部部長	：『豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを !!』

クラブ役員	Officers
会 長	： 新保 正秋
副会長	： 谷川 寛
書 記	： 石津 雅人
会 計	： 藤原 正巳
メネット会長	： 山中 ちあき
Y連絡職員	： 鍛治田 千文

## Biblical Message of July

## July Club Meeting

### 『Kick-off EMC-C』

初めに言(ことば)があった。  
 言は神と共にあった。言は神であった。

(ヨハネによる福音書 1章 1節)

### 7月 第 1 例 会

日時：2010年7月21日(水) 18:30~20:30  
 場所：ホテルグランヴィア大阪 21階

司会：大村 肇 君

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘         | 山中 秀男 会長        |
| 2. ワイズソング       | 一 同             |
| 3. 聖句朗読         | 山田 孝彦 君         |
| 4. ゲスト・ビジター紹介   | 山中 秀男 会長        |
| 5. 今月の強調活動      | 坂本 哲朗 君         |
| 6. 晚餐           | 一 同             |
| 7. 会長交代式        | 司式 / 松浦 孝次 中西部長 |
| 8. 中西部長方針       | 松浦 孝次 中西部長      |
| 9. 会長挨拶・方針      | 新保 正秋 新会長       |
| 10. 各委員の今年度方針   | 各 委 員           |
| 11. 会計(決算・予算)   | 藤原 正巳 君         |
| 12. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同             |
| 13. 閉会点鐘        | 新保 正秋 新会長       |

### 7月 第 2 例 会

日時：2010年7月28日(水) 18:30~20:30  
 場所：土佐堀YMCA会館4階

7月お誕生日：坂本メネット(21日)

例会担当：1班：大村、新保、田中、畠中、山田、山中  
 の各メン

## 創造と協同、みんなの願いを前へ

新保 正秋

大阪センテニアルクラブは、1982年7月20日に産声をあげたと聞いております。

これまでの諸先輩の後を受け、さらに山中前会長のすばらしい足跡を続けてゆく、新しいセンテニアルクラブの会長になりましたことを光栄に思っております。

ところで、学校長が交代すれば、学校は変わるとよく聞く言葉ですが、そんなことはありません。基本は、児童・生徒の成長・発達を信じ、教職員と父母の団結のもと、地域に根ざした活動です。まさに創造と協同です。ワイズメン会員一人ひとりの声を聞き、7つの事業をやりぬくことかと思ひます。

皆さんの思いはいろいろありますでしょうが、違いを乗り越え、同じところに依拠しつつ、前へ進むものではありませんか。

さらに中西部へのバックアップも忘れてはなりません。そして、30周年につなげる委員会を起こします。一人ひとりの力をお貸しください。よろしくお祈いします。

次回は、松浦孝次さんです。

## 【クラブ統計 Statistics】

2010年6月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	16名	9名	6月 現 切 手 金	21g	6月：20,600円
例会出席 16名	メネット	7名	1名		0円	
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名		846g	
出席率 84.2%	ゲ ス ト 合 計	0名 23名	0名 10名		0円	累 計：243,750円

## 6 月 第 2 例 会

これは「ヨハネによる福音書」の最初に出てくる有名な箇所です。ここで言う「ことば」は「イエス・キリスト」を指しています。「この福音書がナザレ人イエスの生涯をどのような視点から描こうとしているかを、あらかじめ示すための重要な序文」と注解書には書かれています。

ところで、Y s Men s Club の一年は、7 月から始まります。私達センテニアルクラブは、チャーターから 28 年の歴史を重ねて来ました。この新しい 1 年が始まる時、気持ちを新たにしてい歩を踏み出します。この時に、仲間の「松浦孝次君」が中西部長として選ばれました。これも神様が与えて下さったクラブへの貴重なチャンスと受け止めて、力を合わせて支援して行きたいものです。

期の初めには国際・エリア・区・部・クラブの各段階で「主題」が決めます。今期中西部松浦部長の主題は「豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを」です。センテニアル皆で力を合わせて松浦部長を支えて行きましょう。

聖句選 コメント：山田孝彦

(次回は、谷川有美子さんです)

## 6 月 第 1 例 会

と き：2010年6月16日(水) 18:30～20:30  
と ころ：ホテルグランヴィア大阪21階

今期最後の例会は、さまざまな改革で当クラブに新風を吹き込んだ山中秀男会長による点鐘で始まりました。

本日のメインスピーチは、先月新会員になったばかりの高橋裕也さんによる「社会ニーズを事業化し、仕事を通じて社会奉仕する一ビジネスモデル」。

まず山中会長から「米国のNGOは100万あるが、1つのNGOに5人のスタッフがあり、500万人の雇用がある。それに比べ日本はまだまだ立ち遅れている」と指摘。高橋さんは、5年前にパソナと出会い、今は企業の福利厚生アウトソーシングを請け負う、子会社(株)ベネフィット・ワンで働いています。会社で働くことが社会貢献につながるというパソナの理念に魅かれたそうです。

パソナは、障害者の雇用を促進する「アート村プロジェクト」や、米国やアジアの大学生が日本企業で学ぶ「国際交流プログラム」、社内の地下で植物や野菜を栽培する「地球環境保全活動」など、ユニークな視点で活動を展開しています。

また今、270万人の会員をベースに、個別な興味分野から利用者の傾向をリサーチしながら、戦略的に広告を打つなど、新しいビジネスモデルにも挑戦されているようです。社会貢献がビジネスとして成り立つことを実証するお話に、今後のクラブの在り方にも大きな示唆をいただきました。

その後、各自、1分間スピーチで今期を振り返り、時間があっという間に過ぎた例会でした。山中会長、1年間御苦労さまでした。  
(中村 茂高)



日 時：2010年6月23日(水) 18:00～20:45  
場 所：大阪YMCA土佐堀会館4F

出席：石津、大村、鍛治田、谷川、中村、藤原、松浦、山田、山中の各メンと山中メネット

9月の中西部会の弁当の試食を兼ね、午後6時に集合。新年度に向け、多くのことが話し合われました。

### 報告・協議事項

6月の第一例会の反省/卓話を45分とし、タイムテーブルを作ることが必要。

横浜大会で、IBC交流/8/6、ハワイのモーリス・シモニ氏との懇親会を予定するが、流動的。当クラブ9人。

8月の第一例会(納涼例会)/8/9、18:00、がんこ高瀬川二条苑で。50人で予約しているが、なかのしまクラブが不参加のため、30人(内ビジター5人)。詳細は藤原さんより連絡があるが、他クラブも誘う。

表コミとの交流/8/18(水)10:00～11:30、とさぼりYMCA会館で。山中メネットによる琴演奏あり。

とさぼりサマーセミナー/7/25(日)とさぼりYMCA会館で。受付などの協力が必要。

中西部会の弁当試食/量が多いので、米飯を少なく、代わりにフルーツなどを入れるなどを注文。

メールマガジンの件/藤原さんから海外ものなど、プリンとの内容の調整が必要。また読後の感想など、HPの掲示板に書き込めるよう、石津さんが工夫する。

青年会員会費の負担軽減策/39歳までの会費について内規を藤原さんが作成。

決算・予算/前期繰越金687,791円。次期繰越金933,821円の予定だが、会費の調整で多少の減額あり。

YMCA「安全の日」キャンペーンで、1万円協力。予算計上済み。  
(中村 茂高)



卓話中の高橋裕也メン



## 第13回西日本区大会報告



三浦 直之

6月12、13日の両日に開催された第13回西日本区広島大会に参加しました。今回のキーワードは「ひろしまから世界にとどけ平和の祈り」。65年前のあの惨劇の地となった広島で、今ワイズメンが平和について意思表示を行い、世界に向けて発信したことは大変意義深いことです。核兵器のない世界をめざし、地域からの発信・働きかけは非常に重要で貴重なことだと思いました。あの原爆ドームを目にした時、それは過去の悲劇ではなく、現在にも続いている人類のテーマをつきつけられているという切迫したものを強く感じました。

基調講演では、スティーブン・リーパー氏が「核拡散防止条約」(NPT)のことについて話し、「人類はこの2、3年の間に核のない世界を実現するのか、しないのかその決断の時にいる」と訴え、事の重大さにあらためて気づかされました。

また折り鶴ランで、身をもって今大会の重要性を示された神戸ポートクラブの大野勉メンの快挙に大きな拍手を送ります。

“大野さん、ありがとう。大きな勇気をいただきました”その後、会場をリーガロイヤルホテルに移し、懇親会に出席、多くのワイズメンとの交流をいつもながら楽しみました。当クラブの参加者は11名。

今大会での小生の心残りは、広島名物「お好み焼き」を味わえなかったことじゃけん、今度行った時は、必ず食べるじゃけんのう・・・。



バナーセレモニーでの  
山中秀男会長



原爆ドーム(左)と  
西日本区大会会場となっ  
た平和記念公園(下)



大会当日の朝7時30分より行われた献花式(下)



## YMCA ニュース

早天祈禱会

日時 7月16日(金)7:30~8:30

場所 大阪YMCA会館チャペル

証し 川本かおる氏(YMCA日本語学科スタッフ)

とさぼりサマーセミナー2010(街の学校)

「オオクワガタの飼い方と増やし方」「お寿司を親子で作ろう」「さおり織り」等20講座。講師はすべてボランティア。ワイズの方たちも講師になっていただいています。ご家族でご参加下さい。

1講座 = 1.5~2時間(午前・午後)

会員ライフ委員会では、土佐堀YMCAの活動(事業・ボランティア)が一目でわかるコンパクトリーフレット(10×14cm)を作っています。まもなく皆さんにお届けいたします。(06-6441-0988)

(鍛冶田 千文)

## 6月BF報告

福永(10g) 谷川(10g) 岡本(1g)

計21g

### Club Activities (June, 2010)

On June 16, a total of 22 members & Y's menettes were present to participate in the last meeting of another wonderful year in the Y's Dom.

Outgoing President HIDEO YAMANAKA expressed his deepest appreciation to all members for their support, especially for their active participation in the club's activities, and also for their financial support.

Members gave a big hand to President YAMANAKA for his excellent leadership to achieve many outstanding results - such as recruiting two young members and introducing new operation method into monthly regular meeting. Every member expressed in one minute his and her thanks to him for his effort

to revitalize our club through his outstanding leadership.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. YUUYA TAKAHASHI, our newly recruited member, who presented us with a unique business model of his company, the Benefit One Co., Osaka. Showing a number of the statistic, he showed us how his company achieved various social welfare needs and as a result his company was made a great contribution to our society.

We learnt a lot from his presentation..

Yen 20,600 was collected for our club's Niko-Niko (smiling) fund.

ニコニコ・メッセージ  
【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

若い人の入会や西日本区大会での表彰を受けてクラブに活気が出てきました。来期以降が楽しみです。

(石津 雅人)

広島での西日本区大会も終り、来年度に向けての活動が始まります。クラブにとっても忙しい年になると思いますが若い人が入会され一緒にがんばりたいと思います。

(大村 肇)

食事を頂く時の歌の歌詞を知りたいです。なるべく早く皆さんと一緒に歌えればと思います。ライフワークとしている39プロジェクトの顧問にダウンタウンの松ちゃんのお兄さんが手を上げてくれました。今後の展開が楽しみです。

(岡本 剛介)

高橋さんのお話し、日ごろ聞くことが無いものだったので楽しかったです。もっと聞きたかった！

(鍛治田 千文)

西日本区大会、お疲れ様でした。今期は私もメネット主任の大役を賜り、緊張の一年です。

(坂本 千春)

西日本区大会に参加しました。いよいよ今期西日本区の事務局員としての活動が目白押しです。

(坂本 哲朗)

久しぶりに広島の西日本区大会に参加し楽しく、そして刺激を受けました。来期の坂本メネット主任、中村メネット主査に頑張ってもらえる様に出きる事でお手伝いしたいと思います。

(隅田 恵子)

一ノ助がお騒がせしました……。本人はとても楽しそうの皆様へ感謝致します。

(高橋 祐子)

西日本区大会で各種表彰をみんなで祝いたいと思います。皆さんの努力を心から感謝します。

(谷川 寛)

西日本区大会に参加しました。感謝です。

(中村 幸枝)

今日の司会は体調不良のため御迷惑をおかけして相済みませんでした。

(福永 嘉彦)

二人で一人前かなと感じる様になりました。例会に出席させて頂ける事は感謝です。

(福永 滋子)

我クラブが西日本区大会で5個の表彰を獲得した由、大変心嬉しいニュースです。特に「青年会員獲得賞」と「優秀プリテン賞」の獲得は誠に特筆すべき出来事であり、山中会長、石津メン、中村茂高メンのご尽力に厚くお礼申し上げます。高橋メンの卓話、最新のビジネスモデルをご紹介頂き大変有難うございました。高橋メンの今後益々のご活躍を心より祈念致しております。

(藤原 正巳)

中西部の「公式訪問」すでに2クラブを訪問させて頂きました。いろいろなクラブのメンバー構成や行動様式の違いを見ることが出来て参考になりました。皆さん頑張っておられることに感謝を覚えます。

(松浦 孝次)

西日本区大会(広島)に行ってきました。原爆ドームを見てきました。65年前の惨劇を目の当たりにし、いかに惨劇であったかの想いを新たにしました。大会でのステーブン・リーバ氏のお話は核のない世界への切なる思いが込められていました。

(三浦 直之)

広島で開催された第13回西日本区大会に出席してきました。文字通り南は熊本、鹿児島から東は名古屋から更に東京からもY'sの仲間が集まり久しぶりに旧交を改めて懐かしい交流をして来ました。帰り少し足を伸ばして裏日本までドライブ旅行を楽しんで来ました。

(山田 孝彦)

高橋裕也さんの卓話に感謝、社会ニーズの事業他、社会奉仕に感銘、「新しい時代を感じました。」

(山中 秀男)

高橋コネットの一ノ助君に家庭的な会を久しぶり楽しむ事が出来ました。

(山中 ちあき)

西日本区大会に参加し帰りしなに主人のお墓参りができた事、感謝でした。

(山村 利子)



西日本区2009~2010年度各種表彰

6月12、13日両日行われました第13回西日本区大会で、当クラブは次の賞を獲得しました。

- ・理事表彰 プリテン優秀クラブ賞
- ・Yサ・ユース献金100%達成賞
- ・CS/TOFF/FF献金トリプル達成賞
- ・青年会員獲得賞
- ・BC交流賞

後記

高橋裕也さんの話を聴き、「日本初、社会起業学科」との触れ込みで、2008年に関西学院大学でそんな学科が誕生したことを思い出しました。

社会起業家により行われる「社会企業」とは、貧困や環境破壊といった社会問題の解決をめざす企業であり、利潤を優先するベンチャー企業とは一線を引いています。私たちの知るところでは、2006年にノーベル賞を受賞したムハマド・ユヌス氏のバングラデッシュに設立し、貧困者の救済にあたった低金利、無担保融資のグラミン銀行や、雑誌販売を提供することで、ホームレスの自立をサポートする「ビッグイシュー」が有名です。

山中会長が言われるように、日本ではまだ無償やボランティアの考え方が根深く残っています。英国では、コミュニティ・サービスから環境、雇用、教育、医療などあらゆる分野で、5万5千の社会企業が、年間3兆5千億円を売り上げ、GDPに1兆1千億円の経済効果をもたらしているそうです。それを支えるチャリティ援助財団や内閣府の社会企業局の存在も大きいようです。

日本も、パソナのような社会的理想・理念を持たなければ、企業として成り立たない時代に入ったのかも知れません。

(中村 茂高)

